

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

公表：平成31年3月1日

対象スタッフ:6名

事業所名：児童デイサービス ステップメイト蛇田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善内容、改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		2つのスペースを使い、運動と作業療育にそれぞれ取り組めるようにしています。	
	②	職員の配置数は適切である	6			定員に合わせた職員配置を今後もしていきます。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		下駄箱や荷物かごに名前(写真など)をつけることで自分の物の管理、スペースを分かりやすく視覚化しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			運動用具や物が増えてきたのでしっかり整理し、子ども達に危険がなく安心して過ごせる環境作りを心がけます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	⑥	保護者様に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		今後必要があれば取り入れていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保している	5	1	今後も様々な研修に意欲的に参加し、技術・知識の向上に努めていきます。	内部研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成している	6		一人一人に合わせた支援計画を作成するよう心がけています。	本人、保護者様のニーズを確認しながらその時の状態・様子に合わせた計画の作成を行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	子どもたちが興味を持ってくれる物をいろいろ試しながら取り組んでいます。	・アセスメントツールを見直し、現状を分かりやすく把握できるように取り組んでいます。
	⑫	児童発達支援ガイドラインを踏まえ、子どもの支援に必要な項目を複数組み合わせる上で、具体的な支援内容が設定されている	6		レベルに合わせた目標を設定し、ひとつひとつ達成することで自信に繋げていけるよう取り組んでいます。	

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		スタッフで案を出し合いながら、それぞれの個性や特性を尊重して活動するようにしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団行動を適切に組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6		小学校入学を見据えた計画の作成を行っています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	5	1	毎日ではないですが、必要に応じ確認しています。	
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りや気づいた点等を共有している	4	2	毎日ではないですが、なるべくスタッフ全員でその日の事を確認しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		スタッフ同士確認し合いながら記録しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		日々の記録を確認しながら、現状や変化の確認をし見直しを図っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	6			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		6		
	㉓	子どもの主治医やかかりつけを把握している。また、協力医療機関と連絡体制を整えている	6			
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		保育園と併用している子は、保育園の先生方と連絡ノートで情報共有し、共通理解で同じように支援できるよう取り組んでいます。	関係機関と会議等を行いながら情報共有や相互理解など努めています。
	㉕	他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所等の専門機関と連携し、情報共有や研修・助言を受けている	6			
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園、小学校等との交流など他の子ども達と活動する機会がある		6		
	㉗	自立支援協議会や子ども部会、地域の子ども会・子育て会義などに積極的に参加している	3	3		自立支援協議会の障害児支援部会員に属しているので、協議会主催の研修や保護者様同士の交流会など情報を提供したり、保護者様からの声を協議会に伝えながら、地域に密着したサポートが出来るよう取り組んでいます。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時やお迎え時に状況を伝えるようにしていますが、短い時間しかお話しする機会がとれていないので、希望に応じゆっくりお話しできる時間の確保していきたいと思っています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2		
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、重要事項説明、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	㉓	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6			
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			個別相談も随時受け付けています。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなど、保護者同士の連携を支援している		6		・当事業所が主体となった保護者会はなかなか開催が難しいのが現状です。
	㉖	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	ステップメイト新聞を定期的に発行しました。	・HPもリニューアルし、今後も情報発信を数多くしていければと思います。
	㉘	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	㉙	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を図っている		6	地域の方たちと触れ合う機会があるといいと常々思っているため、今後案を考え改善していけたらと思います。	
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	3	半年に一回ほど避難訓練を行っています。	マニュアルに沿って、スタッフでシミュレーションをし、その時に備えています。様々な状況を仮定した訓練は行いましたが、保護者様への引き渡しは訓練に入れていなかったため今後引き渡し訓練にも取り組んでいきます。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	5	1	半年に一回ほど避難訓練を行っています。	
	㉝	アレルギーや既往歴など、子どもの状況を事前に把握し対応している	6			
	㉞	ヒヤリハットなど事例集を作成し事業所内で共有している	6			
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしている	6			
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了承を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	3	3		現在までそのような事例はありませんでした。今後対応が必要な場合は、保護者様に相談・説明し対処していきます。

※この「事業所における自己評価結果」はスタッフが事業所を評価した自己評価です。